

事例紹介

事例4 レム 秋葉原（新築）

- ・快適な眠りをテーマとした駅直結型の都心型ホテル
- ・コンパクトな客室空間の中にロールインシャワー室を配置した車椅子利用者用客室を提供
- ・ガラス張り・ワイドビューのシャワー室を設けることにより、開放的な水まわり空間を実現

事例5 ホテルグランヴィア京都（新築+改修）

- ・京都駅に直結した観光・ビジネスの拠点となるシティホテル
- ・竣工時より車椅子利用者の利用に配慮した、ゆとりある共用部空間、車椅子利用者用客室(6室)を提供
- ・ハード面とソフト面（貸し出し、有資格者の配置等）を兼ね備えた「ユニバーサルサービス」の充実

事例6 RAKURO 京都 -THE SHARE HOTELS-（用途変更+全面改修）

- ・既存事務所ビルからの用途変更に伴い、全面改修が行われたホテル
- ・車椅子利用者用客室前の廊下に傾斜路を設けることにより、客室内の床をフラット化
- ・車椅子利用者用客室の水廻りは、洗い場と浴槽のある浴室タイプ（浴室と、トイレ・洗面が分離）

事例7 LYURO 東京清澄 -THE SHARE HOTELS-（用途変更+全面改修）

- ・既存事務所ビルからの用途変更に伴い、全面改修が行われた、ドミトリータイプの客室があるホテル
- ・客室フロアの共用部に、車椅子利用者対応の共用シャワールーム(1室)を設置

レム秋葉原



特徴

- 快適な眠りをテーマとした駅直結型の都心型ホテル
- コンパクトな客室空間の中にロールインシャワー室※を配置した車椅子使用者用客室を提供
- ガラス張り・ワイドビューのシャワー室を設けることにより、開放的な水まわり空間を実現

施設構成

※車椅子で入ることのできるシャワー室

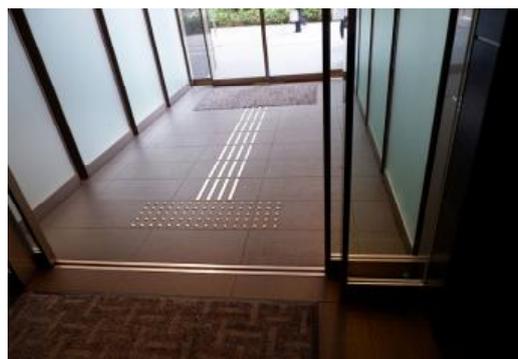
複合施設であるTX秋葉原阪急ビルの6～18階にレム秋葉原がある。6階はフロント・ロビー、7～18階は客室階となっている。

1～6階までは商業施設がある。(物販、店舗、飲食等)

諸元

所在地	東京都千代田区神田佐久間町1丁目6-5 TX秋葉原阪急ビル		
建築主	阪急電鉄株式会社 (施設管理者：株式会社阪急阪神ホテルズ)		
設計者	大成建設株式会社		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造		
階数	地下2階、地上18階、塔屋1階		
竣工年	2008年(新築)		
建築面積	1,423.04㎡	延床面積	14,706.09㎡
客室数	総客室数：260室 (うち車椅子使用者用客室：1室)		
付帯施設	無		

共用部(エントランス)



ホテル専用エントランス

ホテルには、1階の専用エントランスからアクセスする。エントランスの手前からは視覚障害者誘導用ブロックが敷設されており、建物内に入って右手に設置されたカメラ付きインターホンで6階のフロントに連絡することができる。エントランス右側には駅直結の傾斜路が設けられており、傾斜路であることがわかりやすいように、舗装材料が変えられている。



フロント・ロビー(6階)



EV出入口(乗場)



6階のフロントへはホテル専用のエレベーターで移動する。エレベーターの扉には階数が大きく表示されている。

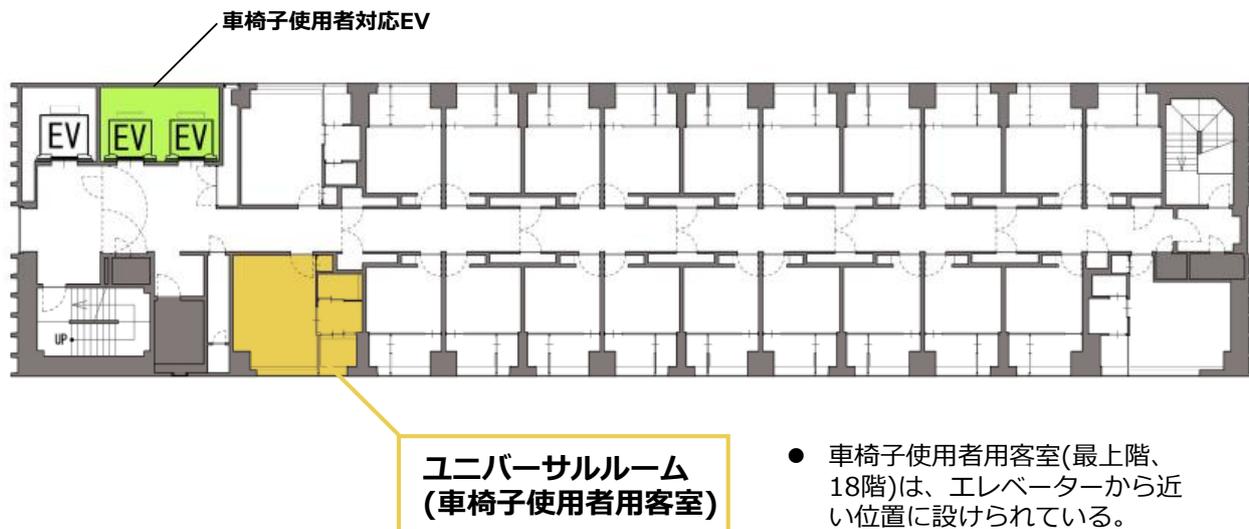
EVかご内(車椅子使用者対応の副操作盤)



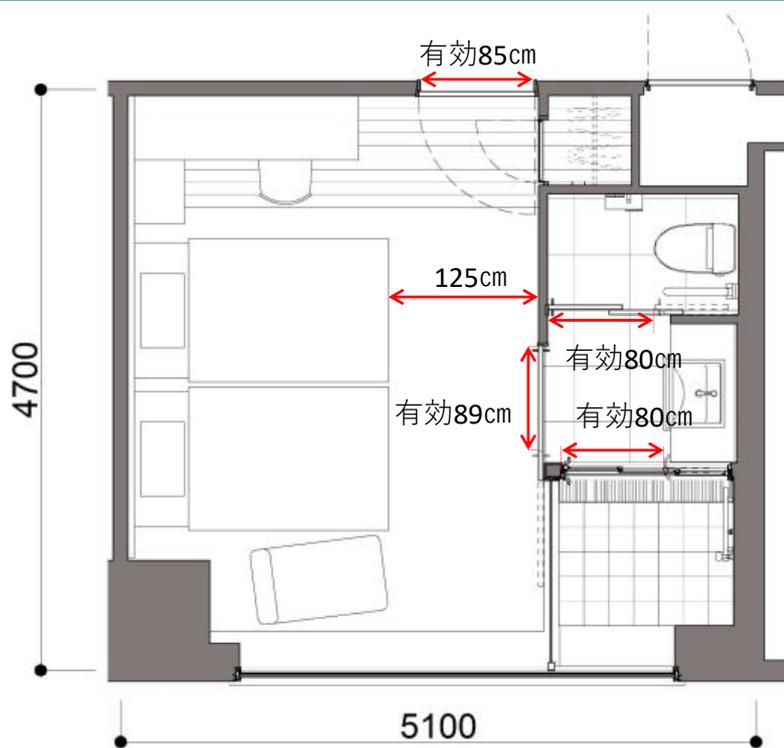
多機能便房(6階)

車椅子使用者に配慮したスペース(約210cm×200cm)が確保されている。便房内には乳幼児用おむつ交換台、乳幼児用椅子、オストメイト簡易型設備が設けられている。





ユニバーサルルーム(車椅子使用者用客室)



客室平面図(23㎡)



客室出入口

扉のドアスコープは、通常の高さに加え、車椅子使用者用の高さ(高さ:100cm)にも設けられている。



客室内部

シャワー室等を客室の横に設けることにより、細長い通路空間が不要となり、無駄な空間の少ない車椅子利用者用客室となっている。

内部のカーテンやクッション、ベッドスプレッド(ベッド全体を覆う布)、ヘッドボードのデザインにはワンカラー(赤)が取り入れられている。



洗面室

洗面台(天板の高さ：70cm)は洗面器が一体になっている。

足元にはスペース(高さ：58cm)が確保されている。



トイレ内部

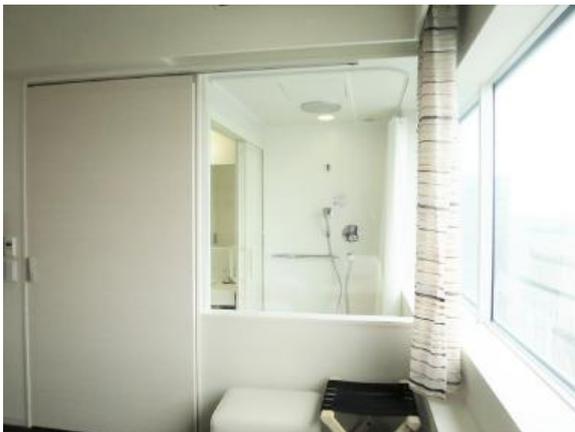
トイレ内部には縦手すりと可動式の手すりが設けられている。



トイレ出入口(開放時)

トイレ出入口(閉鎖時)

洗面室からトイレへの出入口には吊り下げ式の2枚片引き戸が設けられており、前後の高低差はない。
洗面室とトイレは同じ床仕上げとなっている。



シャワー室

洗面室からシャワー室(140cm×120cm)への出入口には3枚引違い戸が設けられ、前後に高低差はない。
ハンドシャワーに加えて、天井から水が出るレインシャワーが設けられている。





室名表示

客室出入口の扉には、部屋番号が見やすいように浮き彫りにされている。



客室内のテレビ



テレビリモコン タブレット端末 の字幕ボタン

客室内のテレビ及びタブレット端末から、施設案内、貸出備品、観光情報、ホテル周辺情報、災害時の避難に関する情報等が確認できる。テレビは字幕表示にも対応している。

ホテルグランヴィア京都



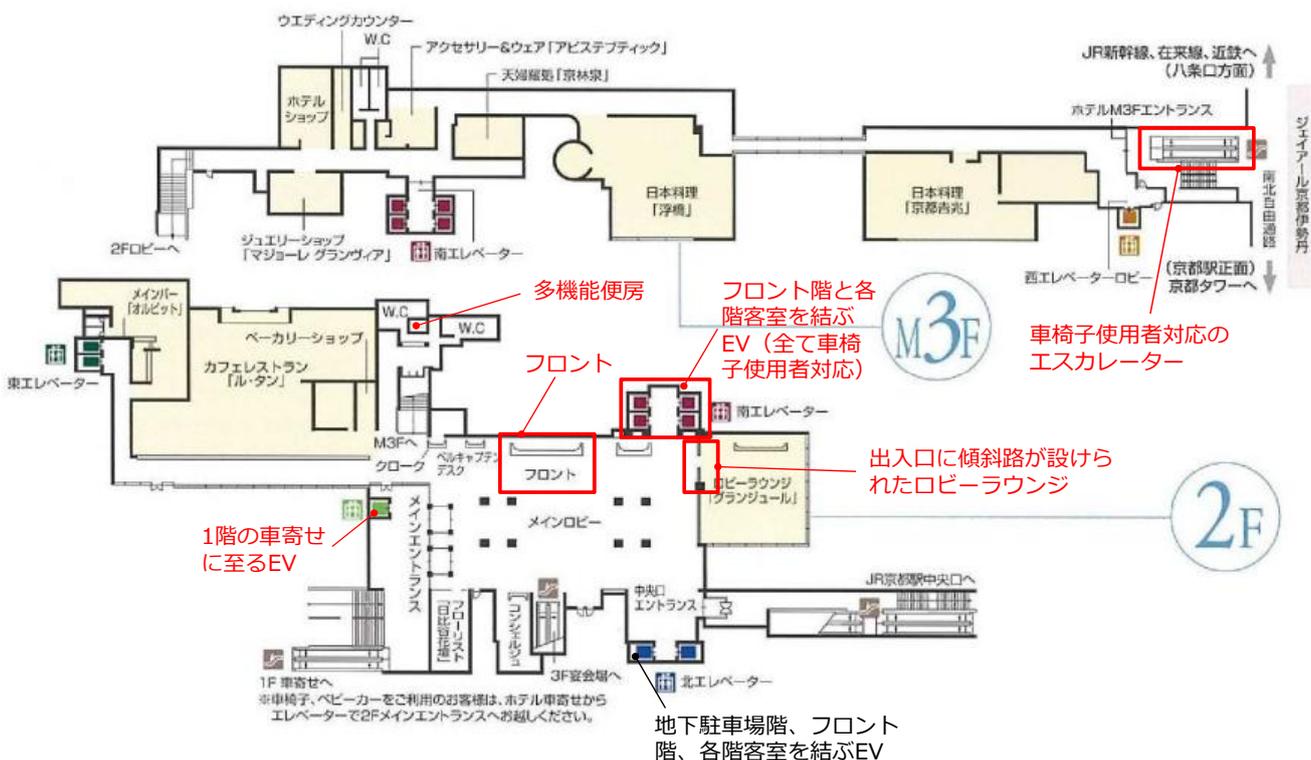
概要

- 京都駅に直結した観光・ビジネスの拠点となるシティホテル
- 竣工時より車椅子使用者の利用に配慮した、ゆとりある共用部空間、車椅子使用者用客室(6室)を提供
- ハード面とソフト面（貸し出し、有資格者の配置等）を兼ね備えた「ユニバーサルサービス」の充実

基本情報

所在地	京都府京都市下京区烏丸通塩小路下ル JR京都駅中央口		
建築主	西日本旅客鉄道株式会社、京都駅ビル開発株式会社 (施設管理者：株式会社ジェイアール西日本ホテル開発)		
設計者	全体：原廣司、アトリエファイ建築研究所 ホテル部内装設備設計：株式会社山下設計 改修設計： (2007年～2009年) 株式会社山下設計 (2017年～2020年) 株式会社安井建築設計事務所		
構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造		
階数	地下3階地上16階(ホテル部)12階(百貨店部)塔屋1階		
竣工年	1997年 (改修年：2007年～2009年、2017年～2020年)		
建築面積	32,351㎡	延床面積	237,689㎡ ホテル専有部：69,890㎡
客室数	537室（うち車椅子使用者用客室：6室）		
付帯施設	宴会場、レストラン、バー、プール・フィットネス、美容室、エステサロン、診療所等		

2階、M3階平面図（共用部）

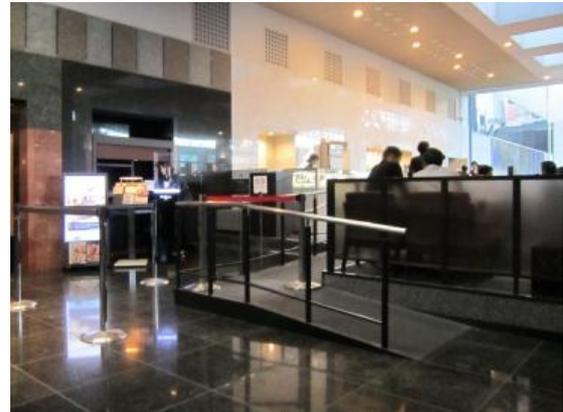


図面提供：ホテルグランヴィア京都（「営業のご案内」パンレットより）



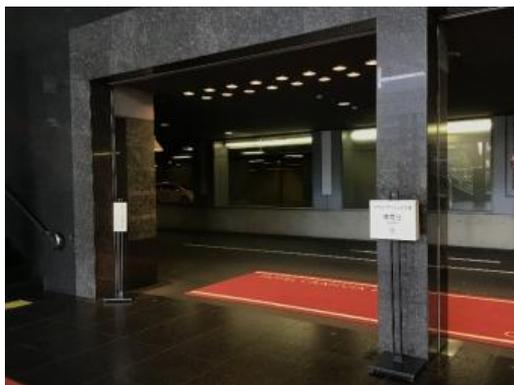
フロント(2階)

一般的な高さのカウンターの横に、いすに座って利用できるカウンターが設けられている。
(高さ70cm、天板下部57cm)

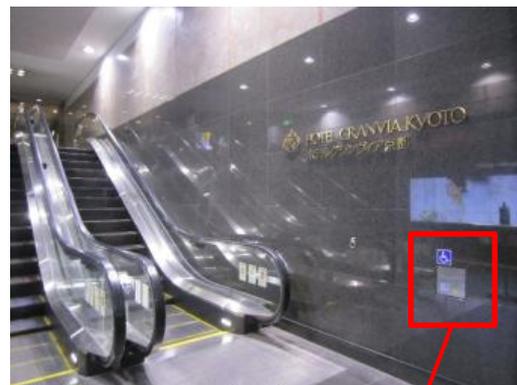


ロビーラウンジ出入口(2階)

ロビーラウンジの床は、フロント部より一段高くなっていたので、改修により、出入口の段の横に傾斜路が設けられた。



車寄せ（1階）



車椅子利用者対応EV(1-2階)

車寄せ(1階)からメインエントランス(2階)には、EVでアクセスが可能となっている(2008年改修時に増設)



エスカレーター(M3階)

京都駅南北自由通路に面するM3階エントランスには、車椅子利用者対応のエスカレーター（踏段3枚を同一の面に保ちながら昇降を行うエスカレーター）が設けられている。車椅子使用者が利用する際には、呼出しボタンでフロントを呼び出す必要がある。



多機能便房(2階)

車椅子使用者に配慮したスペース（約2.1m×1.9m、カウンター含まず）が確保されている。
乳幼児用おむつ交換台、幼児用小便器、呼出しボタン(2ヶ所)、ハンドシャワーが設けられている。（開業後に修繕を実施）

多機能便房のサイン

JIS規格の男子・女子の案内表示に加えて、LGBTに配慮していることを示すサインが設けられている。



基準階平面図（客室フロア）

- ユニバーサルルーム（車椅子使用者用客室）は、7～12階の各階の南エレベーターから近い同じ位置に1室ずつ(計6室)設けられている。

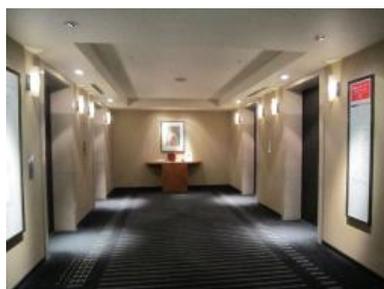


図面提供：ホテルグランヴィア京都（「営業のご案内」パンレットより）

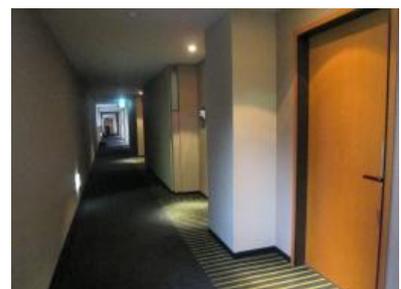


EV内部

EV内部には、非常時用の備品を収納したベンチが設けられている。



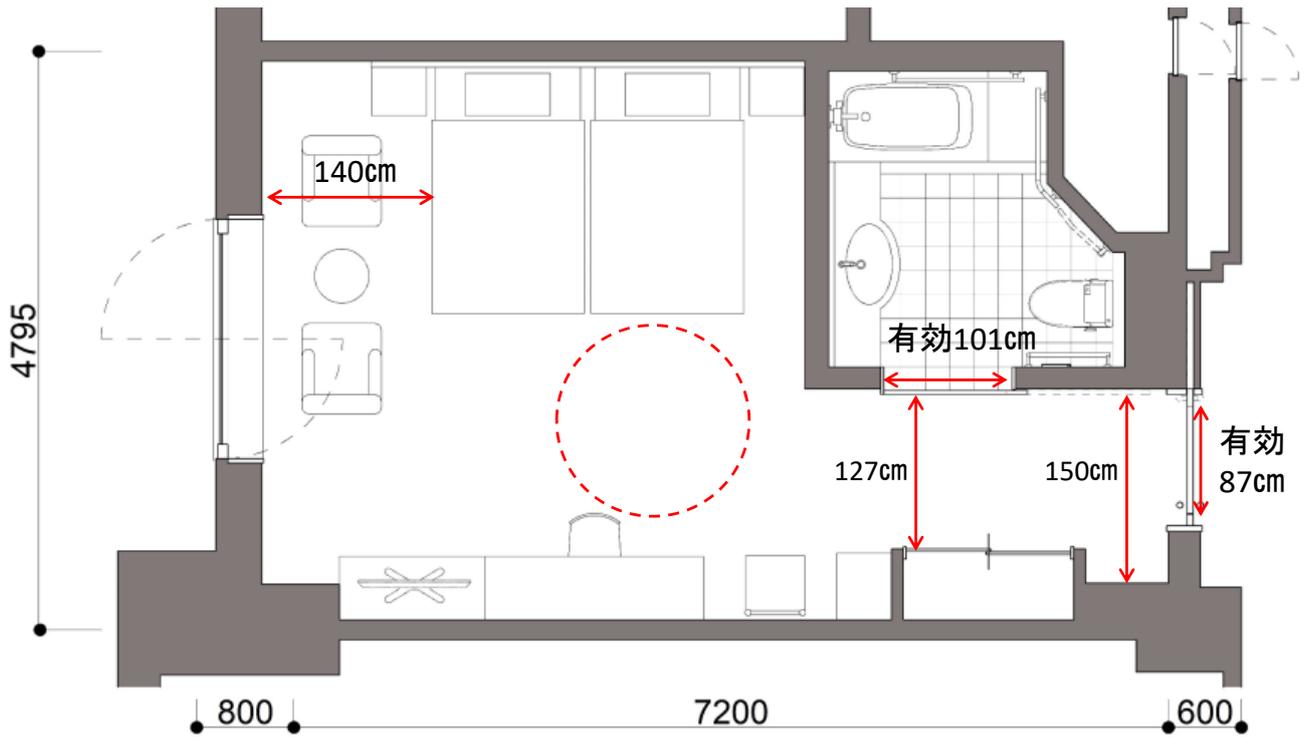
南エレベーターホール(8階)



アルコーブの設けられた客室フロアの廊下

ユニバーサルルーム（車椅子利用者用客室）

ホテルグランヴィア京都



客室平面図（34㎡）

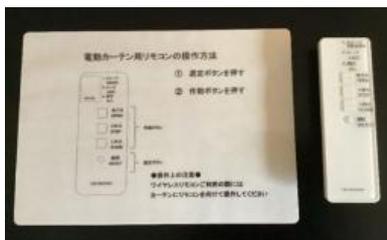
ユニバーサルルーム（車椅子利用者用客室）

ホテルグランヴィア京都



客室内部

ベッドは電動リクライニングベッドとなっている。（2室のみ）
ライティングデスクの高さ：70cm、天板下部は60cm。



電動カーテン用リモコンの 操作方法説明書

客室内のカーテンはリモコン操作で開閉が可能となっている。



リクライニング ベッドのリモコン



呼出しボタン

フロントを呼び出すことが可能となっている。

ユニバーサルルーム（車椅子使用者用客室）

ホテルグランヴィア京都



94cm

客室出入口(室外側)

ユニバーサルルームの6室の客室出入口は、引き戸となっている。
(5室は改修により引き戸を設置)



100cm

クローゼット

ハンガータイプは、受け金物が高い位置と低い位置にあり、高さを変えることができる。

ユニバーサルルーム（車椅子使用者用客室）

ホテルグランヴィア京都



シャワーフック

シャワーフックは、3ヶ所に設けられている。



水廻り室

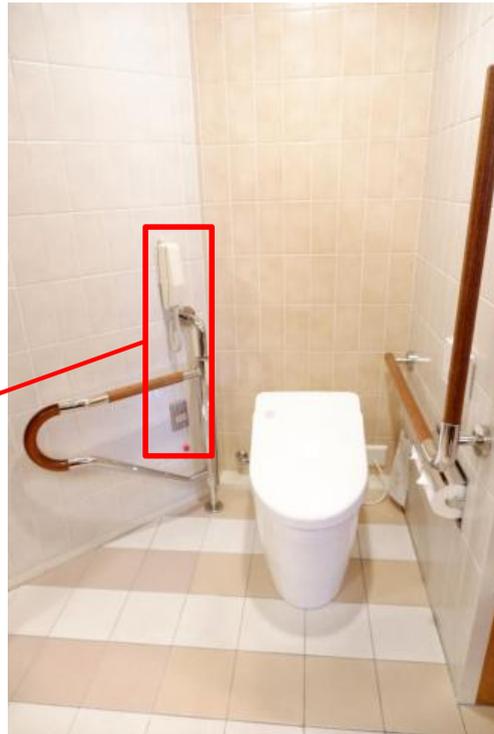
水廻り室出入口の前後に高低差はない。
浴槽には、移乗台及び手すり（一部木製）が設けられている。

ユニバーサルルーム（車椅子使用者用客室）

ホテルグランヴィア京都



呼出しボタン、内線電話



トイレ

L側手すり及び可動式手すり（一部木製）が設けられている。
（可動式は1室のみ）



スーペリアツイン（一般客室）

ホテルグランヴィア京都



客室内部

ベッド前の通路は、竣工時より170cmの幅員がある。
（本客室の仕上げ及び家具等は、2018年に改修）



浴室

洗い場のある浴室には、浴槽出入りのための縦手すり、及び、浴槽内での立ち座りのための横手すりが設けられている。浴槽のエプロンは、浴槽への出入りや立ち上がりをサポートする形状となっている。

**ロックセンサー（全客室貸出可）**

客室出入口の扉にセンサーを設置し、来客（ノック）等の音を拾って光と振動でお知らせする。



振動器

**フラッシュライト（ユニバーサルルーム1室のみ）**

来客等があると、フラッシュライトが光るようになっている。

**屋内信号装置（全客室貸出可）**

聴覚障害者等に配慮し、来客（ノック）やFAXの着信等を光や振動でお知らせする機器の貸し出しを行っている。



シャワー用車椅子(1台)



浴槽滑り止めマット、移乗台(4台)



車椅子

**FAX（全客室貸出可）**

聴覚障害者等に配慮し、フロント等への連絡手段として貸し出しを行っている。

「ユニバーサルサービス」の実施（ホテルグランヴィア京都 HPより）

- 「ユニバーサルサービス推進チーム」を結成し、「人にやさしいホテル」作りを目指した活動（施設改善の提案、社内セミナーの開催などの研鑽活動）を継続して実施
- 2006年度京都市主催「みやこユニバーサルデザイン賞」で奨励賞を受賞
- 子どもから大人・高齢者・病気の方・妊婦・障害のある方・外国の方まで、あらゆる人に対して公平な情報やサービスを提供
- ハートフルアドバイザーなど専門知識を有するスタッフを配置

RAKURO 京都 -THE SHARE HOTELS-



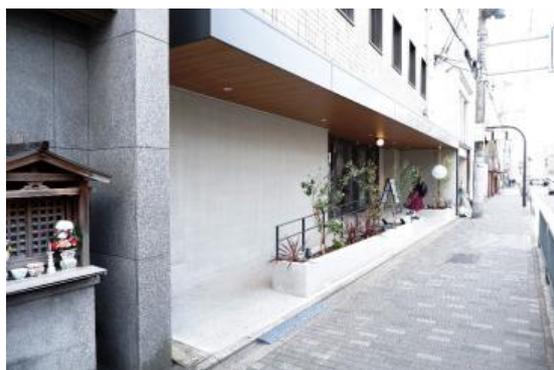
概要

- 既存事務所ビルからの用途変更に伴い、全面改修が行われたホテル
- 車椅子利用者用客室前の廊下に傾斜路を設けることにより、客室内の床をフラット化
- 車椅子利用者用客室の水廻りは、洗い場と浴槽のある浴室タイプ（浴室と、トイレ・洗面が分離）

基本情報

所在地	京都府京都市中京区常真横町186		
建築主	株式会社リビタ		
設計者	株式会社coto		
構造	鉄筋コンクリート造		
階数	地上5階地下1階		
竣工年	A棟：1986年、B棟：1990年 2018年（用途変更を伴う全面改修）		
建築面積	514.42㎡	延床面積	2,602.82㎡
客室数	56室（うち車椅子利用者用客室：1室）		
付帯施設	レストラン、ライブラリー＆ラウンジ、シェアキッチン、屋上テラス		

共用部（エントランス）



エントランス、カメラ付きインターホン

1階エントランスには、階段の横に傾斜路が設けられている。
歩道のL型側溝と傾斜路との取合い部には、段差解消のためのすりつけ板が設けられている。
カメラ付きインターホンまで、視覚障害者誘導用ブロック（点状ブロック）が敷設されている。



フロント

耐震性向上のため、フロント背後の柱には、高延性材巻き工法による補強が行われている。



EV出入口(乗り場)

乗り場ボタンの手前には視覚障害者誘導用ブロック (点状ブロック) が設けられている。



車椅子利用者対応の副操作盤及び手すり (EVかご内部)



多機能便房 (1階)

車椅子使用者に配慮したスペース (約 1.8m×1.9m、カウンター含まず) が確保されている。
オストメイト用設備、乳幼児用おむつ交換台が設けられている。



多機能便房の案内表示

1階の男女別のトイレ出入口付近には、離れた位置にある多機能便房までの案内表示が設けられている。

2階 (改修前後)



改修前：2階平面図

車椅子使用者用客室

改修後：2階平面図 (客室フロア)

2階 (改修後)

RAKURO 京都 - THE SHARE HOTELS-

車椅子使用者用客室



水廻り室出入口の段差 (一般客室)



車椅子使用者用客室前の廊下の傾斜路

車椅子使用者用客室の床をフラットにするために、廊下に傾斜路及び両側手すり(高さ:上 80cm、下 60cm)が設けられている。傾斜路前後には、視覚障害者誘導用ブロック(点状ブロック)が設けられているほか、傾斜路であることがわかりやすいように、タイルカーペットは、廊下と異なる柄となっている。

改修後: 2階平面図 (客室フロア)

スタンダードダブル (車椅子使用者用客室)

RAKURO 京都 - THE SHARE HOTELS-



客室平面図 (18.28㎡)



客室内部



客室出入口まわり(室内側)

(上から) 避難経路図、空調機操作盤、カードキー差込口(床から110cm程度)、照明スイッチ



水廻り室出入口

水廻り室出入口は片引き戸となっており、建具下枠の形状をすりつけ状にし、2cm程度の段差を解消している。



浴室出入口

浴室出入口は、2枚の片引き戸となっており、出入口の前後に高低差はない。



トイレ

L型手すり及び可動式手すりが設けられている。



浴室

シャワーバーのあるハンドシャワーは、高さ調整が可能である。
また、他の客室と同じ風呂イス（木製）が置かれている。



浴槽及び手すり

浴槽の底には、滑り止め用のエンボス加工がされている。
浴槽出入りのための手すりが設けられている。



浴室照明スイッチ

照明の色温度の調整が可能となっている。

案内表示、情報伝達設備等



浮き彫りの室名表示



テレビリモコンの字幕ボタン

LYURO 東京清澄 -THE SHARE HOTELS-

概要

- 既存事務所ビルからの用途変更に伴い、全面改修が行われた、ドミトリータイプの客室があるホテル
- 客室フロアの共用部に、車椅子使用者対応の共用シャワールーム(1室)を設置



基本情報

所在地	東京都江東区清澄1丁目-1-7		
建築主	株式会社サンプラス		
設計者	株式会社リビタ ユニップデザイン株式会社 (設計パートナー)		
構造	鉄骨造		
階数	地上6階		
竣工年	1988年 2017年 (用途変更を伴う全面改修)		
建築面積	272.70㎡	延床面積	1,589.90㎡
客室数	ドミトリータイプ30ベッド(定員1名) 個室タイプ4種23室 (定員2~4名) 収容人数: 102名		
付帯施設	レストラン、かわてらす※		

※東京都隅田川の“かわてらす”社会実験を活用し、河川敷地と連続的に設けられた屋外テラス

1階(共用部)

- 1~2階は共用部 (一部客室有) であり、フロント、多機能便房等が設けられている



傾斜路

1階平面図



エントランスに至る傾斜路
段に併設してスロープが設けられている。

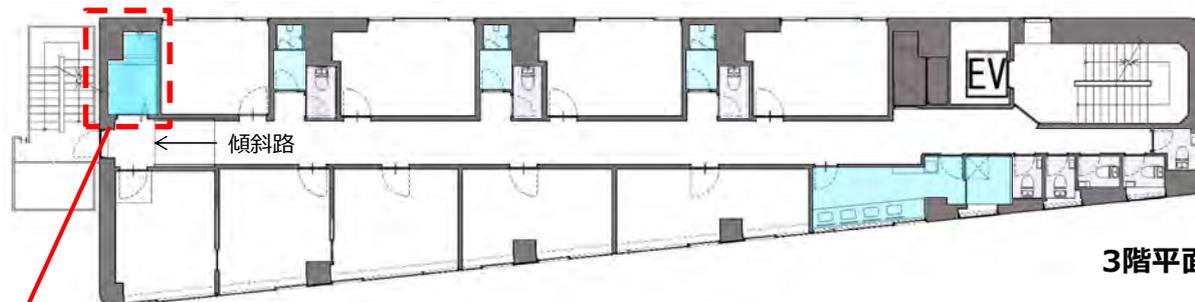


多機能便房(1階)
車椅子使用者に配慮したスペース(約2.1m×2.2m、カウンター含まず)が確保されている。オストメイト用設備、乳幼児用おむつ交換台、乳幼児用椅子が設けられている。

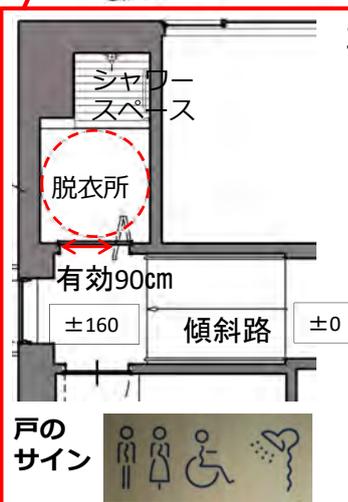
共用部(車椅子利用者対応の共用シャワー室)

LYURO 東京清澄-THE SHARE HOTELS-

- 3～6階が客室フロアとなっており、3階には、客室、共用のシャワー室・トイレ・サニタリー室のほかに、車椅子利用者対応の共用シャワー室(1室)設けられている。



3階平面図



車椅子利用者対応の共用シャワー室



シャワーバーのあるハンドシャワーは、高さ調整が可能となっており、シャワーチェア、縦手すり及び横手すりが設けられている。出入口の戸は、折れ戸となっている。



廊下の端部の傾斜路

客室、その他の共用部 (参考)

LYURO 東京清澄-THE SHARE HOTELS-



コンパクトダブル (個室タイプ)

洗面台のみを備えたコンパクトな客室となっている。(全客室出入口の有効幅員:85cm)



共用のトイレ、シャワー室、サニタリー室



スタンダードダブル (個室タイプ)

窓際に設けられたビューバス、トイレ、洗面所の床は、客室より1段高くなっている。(全客室出入口の有効幅員:85cm)

※この他に、2段ベッドのドミトリータイプの客室等が提供されている。

事例調査（予定）

事例8 ダイワロネットホテル銀座（新築） 11月末済

事例9 後楽ガーデンホテル（後楽賓館）（改修） 12月上旬

事例10 京王プラザホテル（改修） 12月上旬

事例11 さぎの湯荘（改修） 1月下旬

以上